

だいじょうぶ。ともにあるこう。(2012. 7. 24)

三鷹市議会議員

# 野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.55



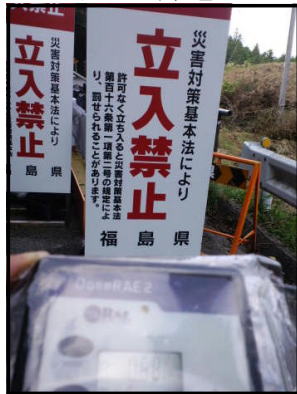
## ◆東京電力Jビレッジ・福島県楡葉町広野町視察

7/17、脱原発自治体議員連盟「グリーンテーブル」の視察に同行。

Jビレッジは、Jリーグのトレーニングセンタ。福島原発の事故直後から、東京電力が事故対応の拠点としてきました。その後の放射能汚染が少なく、20km圏の境界付近であったため、福島原発への復旧支援と放射性物質拡散防止の施設として機能しています。具体的には、労働者などが福島原発に向かう際に、防護服等に替替え、汚染地帯用の車に乗りかえて行く。物資を汚染地帯用車両に積み替える。帰還後は、汚染されていないかのチェックを受ける場所。放射線量測定器を個人別に管理するところでもあります。

当初、特別警戒区域内に入るとのことで、Jビレッジで防護服（タイボックス）を着用し、広野町から楡葉町へと向かいました。残念ながら、バスでは後で除染が必要になるため区域内に入ることはできませんでした。

立入禁止の看板前で楡葉町の生活環境担当の職員から説明を受けました。広野町は、特別警戒区域から避難準備区域へと区域変更しているのが帰宅している人がいるが、2割程度。若い人も戻ってこないし、商店等の機能が失われているので、元の生活を取り戻すのはとても難しい。



立入禁止の看板前空間線量0.68μSv/h。道路端の草むらは1.8μSv/h。



サッカーフィールドが駐車場と除染場、ヘリポートに。20km圏内外に区分けして活用している。

楡葉町は、区域にかかわらず全町避難態勢を維持しているが、近いうちに区域の変更や帰宅について判断せざるをえないだろう、ということで、町議会全員協議会を開くとも言っていました。簡単な決断ではないだけに、苦悩している様子が伺えました。

除染作業を担当する清水建設の現場責任者の話では、除染効果は線量が約半分になるといいますが、0.8が0.4になっても暮らせません。除染はゼネコン各社が請け負い、清水建設は今年12月までに2000人を雇用して、生活圏から20m範囲を除染作業するそうです。山は下枝を払い下草を刈る。全て人手で行い、集めた草などは袋に入れ仮置き場に集積するという事です。

市の担当者は、将来的には福島原発敷地に持ち込むことになるだろう。もともと低レベルの放射能汚染物質は原発内で焼却していたので、フィルターのある炉で焼却していく事になるだろう、と語っていました。

楡葉町から戻って、Jビレッジを改めて視察。今回は特別警戒区域に入りませんでしたので、タイボックスは汚れていないだろうけれど、全て廃棄。汚染度チェックも受け、防護服体験は終了。全て使い捨てというのに、作業員の方で防護服を着たままで煙草を吸っている人たちがいました。下請け業者の中には、防護服を使い回しているところもあるとか、、、真相は不明です。



タイボックスの防護服に靴カバー着用。さらにフードをかぶり、マスク・手袋もします。





## ■6月議会議員提案議案

◆「生活保護制度の見直しを適正に行うことを求める意見書」を起案。昨今のバッシングは生活保護利用者の尊厳を傷つけるもの。扶養義務強化ではなく、住宅提供や心の支援を検討すべきとした。賛成多数可決。

◆「大飯原発再稼働反対」意見書と「オスプレイ配備撤回」意見書は賛成多数、「東電電気料金値上げ反対」意見書は全会一致で可決。「尖閣諸島法整備」意見書は三鷹市民

とは関係ないとしてにじ色につばさ3名は退席するも、賛成多数で可決。

◆「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の改正を求める請願」は全会一致で採択。「放射線被曝から子どもを守る」請願、「生活習慣改善による疾患の予防推進」請願は賛成少数で不採択。



## ■6月議会外環特別委員会

行政報告は、東名JCTの準備工事乃説明会開催について。土壤汚染問題があると聞か、情報はるかとも問うも、担当者は聞いていない。後刻、HPに掲載されている資料しかわからないとの回答。また、7月開催の現地説明会資料の提供もない。沿線自治体をも無視するのか？

## ■東名JCT土壤汚染問題は泥沼化？！

3月に土壤汚染を指摘され試掘したところ、コンクリート瓦礫が出てきた上に、鉛が基準値以上となったため、7/2～5に改めて住民説明会を開催。3日に傍聴したが、説明がいい加減で、資料配付が不十分で、住民らの怒号が飛び交う事態。鉛が出たため、民間産業廃棄物業者の処理場に搬出するとし、これ以上の調査をせずに10tトラック300台分を搬出するという。



住民は、土壤対策法に従ってメッシュを切ってきちっと調査をし、調査結果が出てから、それに見合った対応をせよと主張。手続きは済んでいるから搬出するとくり返す外環国道事務所担当課長。新たな汚染が判明したなら、手続きに則って対処するのが当然。万が一三鷹市域の中央JCT・IT現場でも同様の事があっては大変。

千葉外環では、市川市高浜IT付近で土壤汚染が判明し、市民検討委員会で対応を検討したという。今後の対応に注目！



■7.16さようなら原発10万人集会に参加。三鷹アクションの旗と共に歩きました。

■福島原発告訴団 第2次訴訟の事務局に関わります。8/18夜は武藤類子さん講演会@武蔵野公会堂会議室

収入		
報酬	9,207,000	
審議会等報酬	40,000	都市計画審議会
旅費・日当	9,600	太宰治授賞式、外環視察他
合計	9,256,600	
支出		
税	2,680,820	所得税他
保険料等	1,545,570	国民年金、国民健康保険、生命保険等
議員互助会	24,000	
積立(審議会報酬分)	38,800	報酬二重取りとして別途積立
活動費	380,188	研修、会費、交流会、宿泊費等
事務費	198,010	通信費他
図書資料費	58,290	
交通費	209,600	北九州市、神戸・京都市、いわき・南相馬・石巻市、米子市、女川・南三陸町他
いっしょの会特別会費	1,400,000	
ブラッシュアップ費	197,817	医療費他
生活費	2,523,505	家賃他
合計	9,256,600	

2011年度野村羊子収支報告(11年5月～12年4月)

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.55  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104  
Tel&Fax:0422-72-2425  
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net  
Url: http://www.nomura-yoko.net  
Twitter: https://twitter.com/#!/hitujinomura